



ブラジル宣教12年目へ

新年、明けましておめでとうございます。
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、皆さまの尊いお祈りとご支援に支えられ、恵み豊かな一年を過ごすことができました。私たちのブラジル宣教も12年目に入りましたが、主が私たちに期待しておられることをさらに見極めながら、新年もみことばと聖霊に励まされて宣教の使命を果たして参りたいと思います。

昨年は、新たに「子どもサッカー教室」がスタートし、7-12歳までの子どもが毎週20名以上集っています。互いの名前を覚えてファーストネームで呼び合い、子どもたちの家族とも良き信頼関係が与えられています。長男はコーチとして、私は聖書のみことばを携え、妻はおやつ係としてケーキを携え、それぞれの持ち場で奉仕しております。幸い、二家族が教会の礼拝と交わりにつながっています。



ヴァルゼンボニータの伝道も、聖霊の働きかけの中で少しずつ人々の心が変わってきているように感じています。11月3日に突然ご主人を天に送った中嶋さんから依頼を受け、急遽斎場での葬儀の司事をいたしました。亡くなった中嶋さんは、ヴァルゼンの野球チームで長年活躍され、葬儀にはその関係者が大勢詰めかけていました。訪問の度に野球の話で盛り上がり、花の苗木や野菜を下さることもあった中嶋さんは、私の作る「福音レター」もよく読んで下さり、福音に心が開かれていた方でした。残された奥様の慰めと癒しを祈っています。

12月のヴァルゼン・クリスマス会には86歳の宮原さんが初めて来会、教会のクリスマス会にも70歳の仲田さんが初めて足を運んで下さいました。天からの雨が乾いた大地を潤すように、神の恵みの福音がヴァルゼンボニータの人々の心に少しずつ浸透しています。やがてそれが喜びの泉となって湧き上がり、確かな永遠のいのちと御国への希望につながっていくようにと祈られています。



2023年は、身近な日系一世の久田さん、杉本さん、中嶋さん、上野さん（7月に受洗）が地上の生涯を終えられました。「最後のアダムはいのちを与える御霊となりました」（1コリント15:45）と言われる御子イエスこそが私たちに真のいのちを賜る救い主です。「神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです」（1コリント1:25）と語るパウロの宣教の秘訣と醍醐味をいよいよ経験できる一年でありたいです。「宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救うことにされた」神（1コリント1:21）のご計画に従って、福音の奥義を余すところなく語り続ける者とさせていただきたいと願ひ祈っています。

日本の皆さまと諸教会の上に、主の恵みとまことが満ち溢れる2024年でありますように。



近況と祈りのお願い

- ・新たに始まった「子どもサッカー教室」の祝福
- ・主任牧師の安井敏明先生・弘子夫人の健康と牧会の祝福
- ・ヴァルゼンボニータに住む日系約40家族の祝福と救い
- ・毎月のガレージ礼拝と書道教室、伝道方策と会堂のため
- ・受洗準備中の兄弟姉妹のため
- ・四人の子どもたちの健康と学び、進路と信仰のため

2023年9-12月 献金のご報告と感謝

(2023. 9-12月分)	(1-12月の累計)
指定献金: 979,800 円	(2,560,196 円)
現地支援: 346,350 円	(1,049,030 円)
合計: 1,326,150 円	3,609,226 円

*昨年一年間の諸教会の皆さまの尊いお祈りとご支援をありがとうございました。2023年の目標額410万円に対して約360万円が与えられました(達成率88%)。おささげくださった諸教会とお一人ひとりに改めて感謝申し上げます。

*2024年の予算は昨年と同様の目標額です。引き続きのご支援とお祈りを何卒お願ひ申し上げます。

2024年 献金目標額：410万円
(「浜田宣教師指定」300万円+現地支援110万円)

日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献・陽子／真理生・湧希・聖也・翔

住所：CEP 71705-024 Av.Contorno, Bloco 1125, casa 11, N.B. -DF BRASIL

E-mail: kenyokomario@yahoo.co.jp

献金先：郵便振替 00120-5-142886 日本同盟基督教団事務所（「浜田宣教師指定」とご明記下さい）